

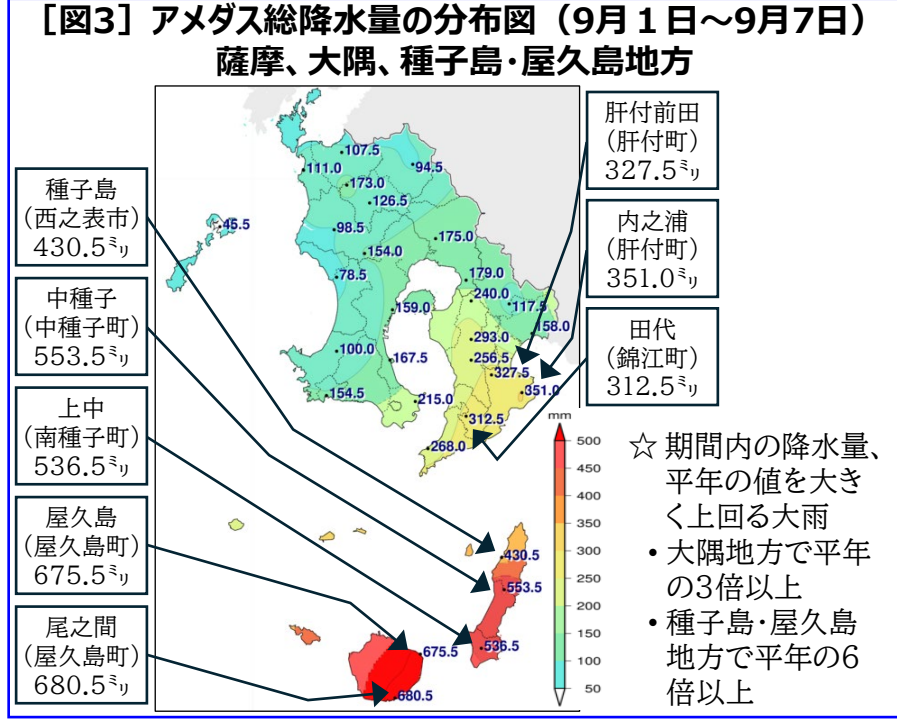
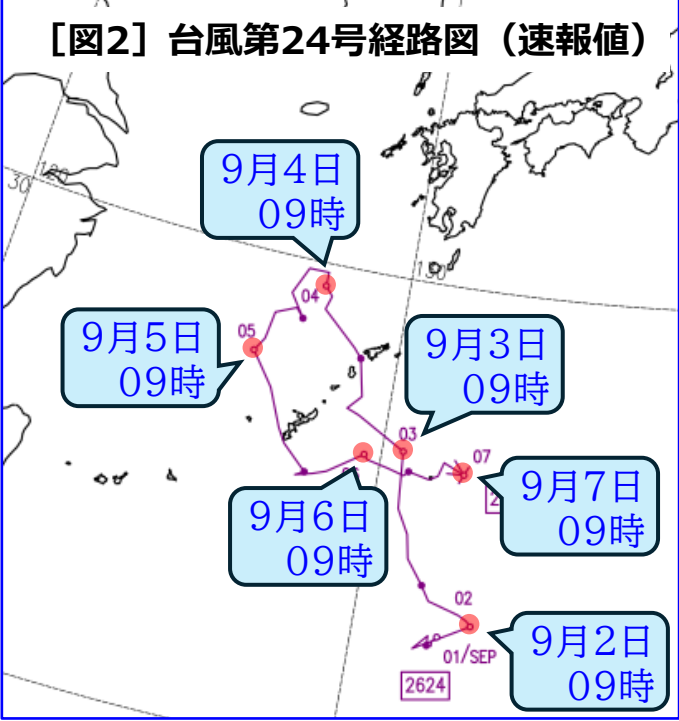
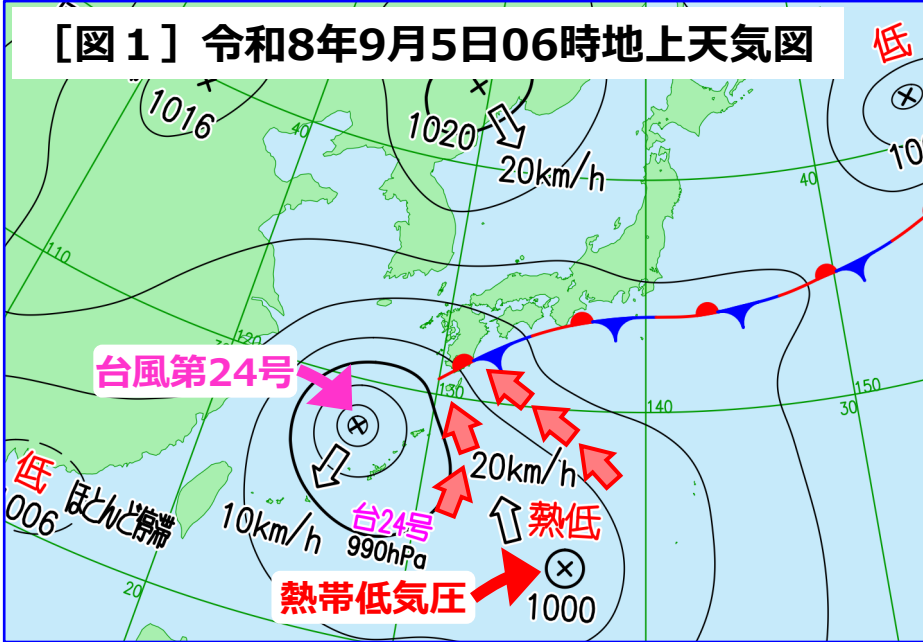
【振り返り】

2026年(令和8年)9月5日、屋久島地方における
台風第24号、前線による大雨について

2026年(令和8年)9月18日(金)

鹿児島地方気象台

1. 気象の状況等



【表1】
2026年9月4日から5日に発表した屋久島町の土砂災害に関する気象警報

9月4日	07時05分	レベル2 土砂災害注意報
	19時25分	レベル4 土砂災害危険警報
9月5日	05時10分	レベル5 土砂災害特別警報
	11時30分	レベル4 土砂災害危険警報
9月6日	04時21分	レベル2 土砂災害注意報
	11時56分	レベル4 土砂災害危険警報
9月7日	04時12分	レベル2 土砂災害注意報
9月8日	04時16分	解除

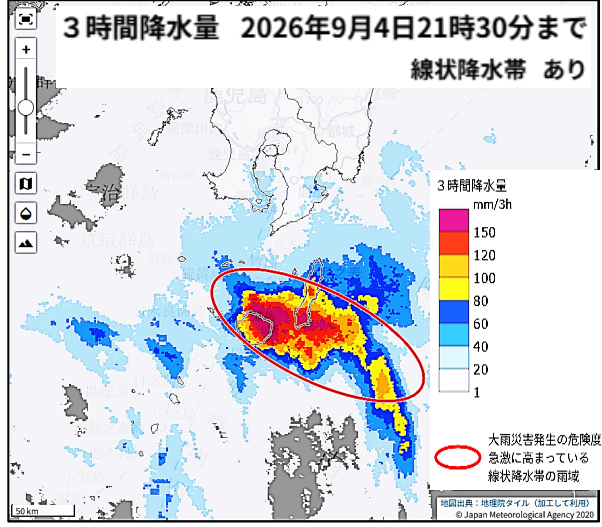
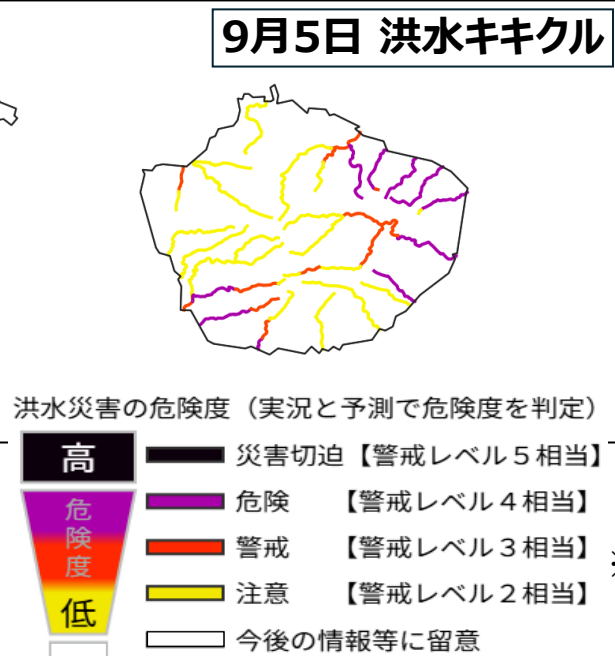
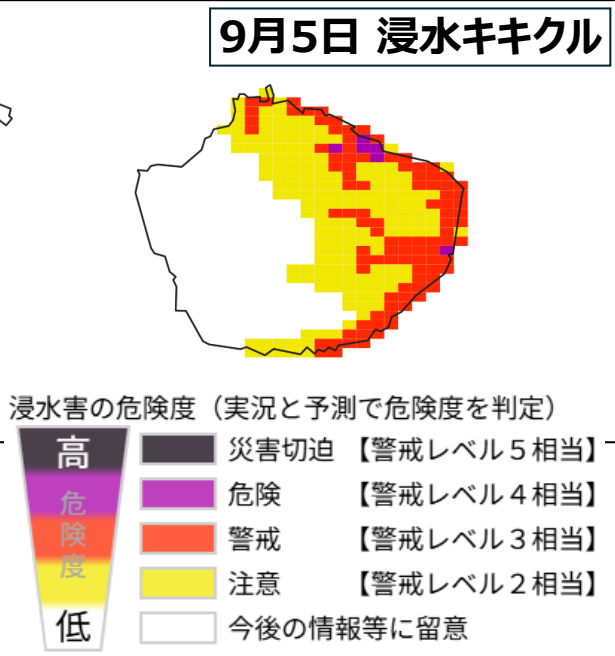
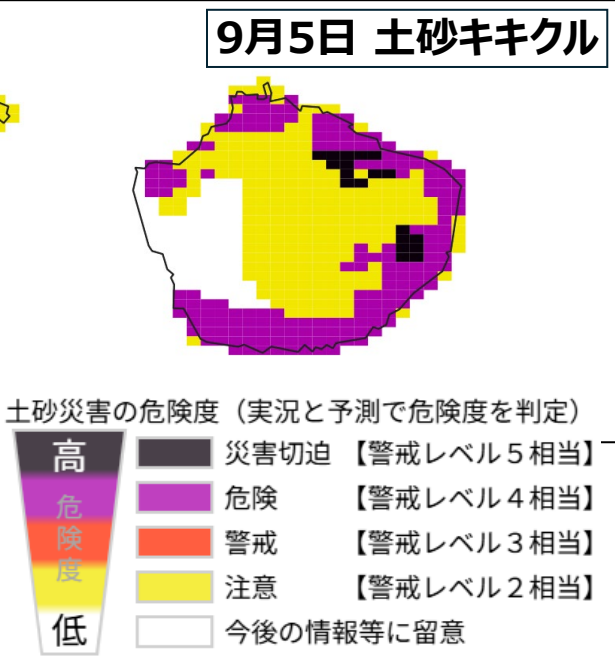
9月5日05時10分、屋久島地方では大雨による災害の危険度が高まり、今後も更に激しい雨が降り続いたため、レベル5土砂災害特別警報を発表

- 太平洋側沿岸に停滞する秋雨前線に向かって、台風周辺の湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となった【図1】。
- 台風第24号は、沖縄の南海上を北上して南西諸島に接近し東シナ海に北上、その後、台風は南下し複雑な動きをした【図2】。
- アメダス総降水量は、暖かく湿った東風から南東風の影響を強く受け、大隅地方、種子島・屋久島で平年の期間降水量を大きく上回る大雨となった【図3】。また、種子島・屋久島地方では、気象防災速報（記録的短時間大雨）、気象防災速報（線状降水帯発生）を発表【表2】するなど大雨災害発生の危険度が急激に高まり、特に屋久島町では重大な災害が起こるおそれが著しく高まったため、レベル5土砂災害特別警報を発表した【表1】。

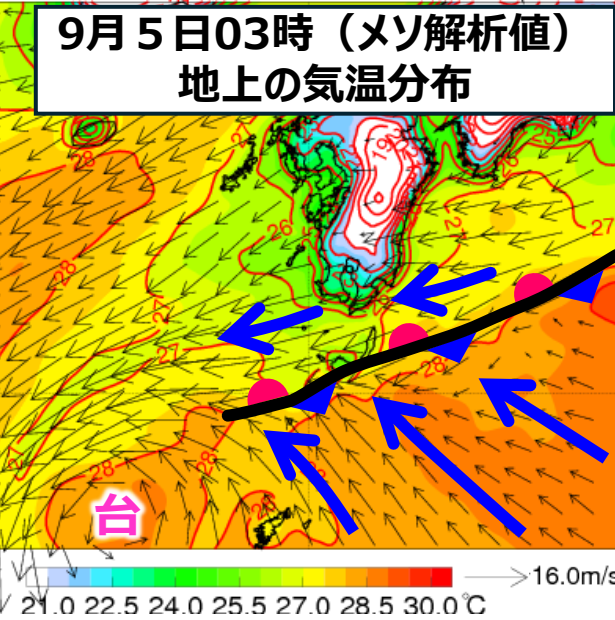
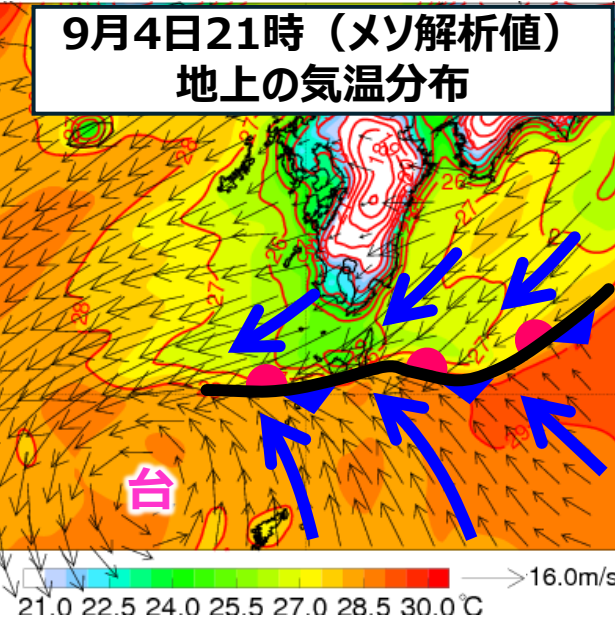
【表2】2026年9月4日から5日に発表した鹿児島県（奄美地方を除く）気象防災速報

2026年9月4日19時38分	鹿児島県（奄美地方を除く）気象防災速報（記録的短時間大雨） 第1号
2026年9月4日20時19分	鹿児島県（奄美地方を除く）気象防災速報（線状降水帯直前予測） 第1号
2026年9月4日21時29分	鹿児島県（奄美地方を除く）気象防災速報（線状降水帯発生） 第1号
2026年9月5日01時58分	鹿児島県（奄美地方を除く）気象防災速報（線状降水帯直前予測） 第2号
2026年9月5日02時48分	鹿児島県（奄美地方を除く）気象防災速報（線状降水帯発生） 第2号

2. 2026年9月5日、屋久島町のキキクルの最大危険度



※ 最大危険度とは、それぞれのキキクルにおいて各格子ごとに最も高くなった危険度を表示したものです。



- ❑ 秋雨前線が種子島・屋久島地方付近に停滞し、前線を挟んで、前線の北側で北東風から東風の寒気が流れ込み、南側で台風からの南東風による暖湿気の流れ込みが強まり、雨雲を発達させるための上昇気流が強まった。
- ❑ 屋久島地方の大雨は、長時間、秋雨前線が停滞したことに加え、急峻な地形の影響力も加わり雨雲が発達した。
- ❑ これらから、屋久島地方で大雨をもたらす状況となり、同じ地域に雨雲が停滞することで土砂災害の危険度が高まりレベル5土砂災害特別警報の発表に至った。